

製品名: HECD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11964**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	287kDa

抗原情報

遺伝子名	HECTD1
別名	KIAA1131
遺伝子 ID	25831.0
SwissProt ID	Q9ULT8
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

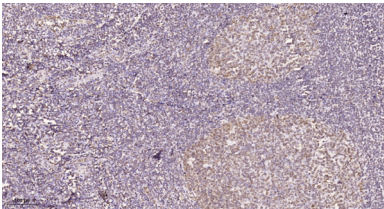
機能: E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼと考えられ、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、そのユビキチンを標的の基質に直接転送します。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: UPL ファミリーに属します。 K-

HECT サブファミリー。類似性:1 つの HECT (E6AP 型 E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼ) ドメインを含みます。類似性:1 つの MIB/HERC2 ドメインを含みます。類似性:4 つの ANK 繰り返しを含みます。機能:チオエステルの形で E2 ユビキチン結合酵素からユビキチンを受け取り、そのユビキチンを標的の基質に直接転送する、おそらく E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼです。経路:タンパク質修飾、タンパク質ユビキチン化。類似性:UPL ファミリーに属します。K-HECT サブファミリー。類似性:1 つの HECT (E6AP 型 E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ) ドメインを含みます。類似性:1 つの MIB/HERC2 ドメインを含みます。類似性:4 つの ANK リピートを含みます。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。